

講演・学習会へのお誘い

2025年12月14日 「第四の被曝」を広める会代表 大藏律子

師走の慌ただしい時節になりましたがいかがお過ごしでしょうか。秋はつかの間に過ぎ去り大寒波到来のニュースでもちきりの今日この頃です。

高市政権の発足と共に、「台湾有事は存立危機事態」、非核三原則の見直し、防衛費2%の前倒し等々に加え、物価高対策としての積極財政（＝円安・物価高騰）の経済政策がお茶の間を賑やかしています。この現状をある著名な江戸文化研究者は、「もう戦時体制です」と表現しました（地平8月号）。

「第四の被曝」を広める会が発足して7ヶ月過ぎ、広める活動は着実に広がっています。7月12日のNHKディレクター横里征二郎さんによる映像と講演の集いには260名を越える参加があり大盛況でした。その後も、秦野、伊勢原、茅ヶ崎、藤沢、平塚と大小の上映と講演会が取り組まれました。秦野、伊勢原ではたった一人の会員が地域に働きかけて集会を実現しました。新年早々にも茅ヶ崎集会が予定されています。会員一人ひとりが主体的に取り組む運動として広がっています。

さて広める会は、NHKスペシャル「封じられた“第四の被曝”」を観たことで遺族の思いに心を寄せ、地元から事実を究明しようと結成しました。横里さんがこのドキュメント映画を制作するきっかけは、森口由香教授の講演を聴く中で「第四の被曝」を知ったからでした。私たちの運動のルーツをたどると森口由香さんに行き着きました。そこで、会の運動が半年経過をした段階で、戦後アメリカの科学技術外交を研究する中で、「拓洋」「さつま」の被曝に関する史料を発掘した森口さんの思いや背景などを知ることが今後の運動の強化にとって重要だと考え、下記の通り学習会を開催することになりました。

会員・支援者・友人の皆さんのご参加を呼びかけます。

記

1. 期 日 2026年 **2月7日（土）** 午後2時～4時30分 *開場は午後1時30分
2. 場 所 **平塚市中央公民館 小ホール**（4F） 平塚市追分1-20 0463-34-2111
3. 内 容

（1）講 演 演題 **「拓洋・さつま被曝事件とは何か
—アメリカ科学技術外交の文脈から—」**

講師 **森口由香**

（京都大学大学院教授。20世紀アメリカ史、冷戦期のアメリカ広報文化外交・科学技術外交。著作：「文化冷戦と科学技術—アメリカの対外情報プログラムとアジア—」他。）



（2）遺族のお話、他

4. 参加費 資料代として 500円（学生無料）
5. 参加申込 hiromeru19580712@gmail.com
（名前（ふりがな）、電話番号、住所：市町村名記入）
問合せ：渡辺 090-1555-5090

平塚市中央公民館へのアクセス

【電車・バス利用】

JR平塚駅北口バス乗り場4番

乗車：平63、平65、平68、平97、平62

下車：江陽中学校前、徒歩1分

【徒歩】平塚駅北口、西口より徒歩15分

